表題

○○リハビリテーション病院

○○一郎

（１）　事例提出理由

（２）　事例概要

クライエント：Ａさん　８０代　女性

住所：Ｂ区

診断名：右大腿骨頸部骨折、心不全

既往歴：高血圧、心房細動、不整脈（ペースメーカー植込み）

保険：後期高齢者１割負担

介護保険：要支援１→要介護４

手帳：１種１級

職業：無職

経済状況：年金、福祉手当

住宅状況：アパート　エレベーターなし外階段の２階

家族状況：妹Ｃさんと姉Ｄさんの三人暮らし

（３）　事例経過

○年△月□日

　妹Ｃさんより、医療ソーシャルワーカー（以下「ＭＳＷ」という）に会いたいと電話にて来院予約の電話が入る。

　Ｅ医師（以下「Ｄｒ」とする）から、退院できると病状説明受けたが、看たい気持ちはあるが、今の状況では家ではとても面倒看られないので、相談にのって欲しい、地域包括支援センターのＦケアマネジャーにも相談したが、介護老人保健施設への入所を勧められている。しかし経済的にも心配で困っている。どうしたらいいかわからないので姉と二人で伺いたい。

○年△月７日

　妹Ｃさん姉Ｄさん相談室に来室。

○年△月□＋１日

　Ａさんが呼んでいると病棟看護師（以下「Ｎｓ」という）から電話が入る。

○年△月□＋２日

　Ａさんとベッドサイドにて面接を行う。

家に帰りたいが、アパートの２階で階段を上るのも大変、妹や姉に迷惑もかけられない、

この前、病状説明があって退院できるといわれたが、入院前と今では状況が違うので困っている。入院前も杖をついて歩いていたが、今はほとんど車いすで看護師さんに押してもらっているので、もう、階段は無理ねとため息をつく。

○年△月□＋１３日

　ＥＤｒ、病棟Ｎｓ、Ｇ理学療法士（以下「ＰＴ」という）、ＭＳＷにてカンファレンスを行う。

○年△月□＋３４日

　介護老人保健施設　相談員より受け入れ可能、面接予約の連絡をご家族からいただきたいと連絡入る。

○年△月□＋６２日

　ＥＤｒより、病状説明を行いたい、先日の肺炎より食事が食べられず、中心静脈栄養を勧めたい。と電話が入る。

　ＭＳＷにもＨ言語聴覚士(以下「ＳＴ」という)にも同席して欲しいので、病状説明の調整をして欲しい。と依頼あり。

（４）　考察

（５）　グループスーパービジョンを受けて感じたこと及びまとめ

私が、グループスーパービジョン（以下「ＧＳＶ」という）を受けて感じたことは、・・・